

# 富山大学

## 令和 6 年度完成の主な 施設整備事業

令和 7 年 6 月  
富山大学 財務施設部

## 工事概要 案内図

建物位置： 富山県富山市3190番地（富山大学五福キャンパス）

建築面積： 804.22㎡  
延床面積： 2,945.88㎡  
改修面積： 2,769.43㎡

階 数： 地上6階

構 造： 鉄骨鉄筋コンクリート造

基本計画： 富山大学財務施設部施設企画課

実施設計：【建築・設備】（株）小笠原設計

工事監理： 富山大学財務施設部施設企画課、(株) 祥設計

施 工：【建築・設備】林建設(株)  
：（電気設備：1次下請）日本海電業(株)  
：（機械設備：1次下請）富山空調電設(株)

工 期： 令和5年12月～令和6年9月



五福キャンパス



五福キャンパス 案内図

五福キャンパス 配置図

## 富山大学機械系実験研究棟

Mechanics Building, University of Toyama



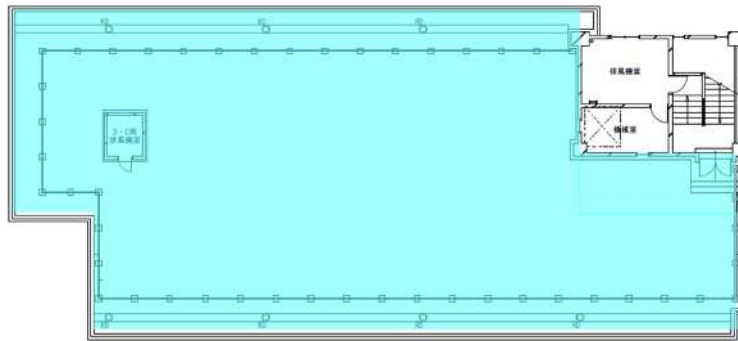
2024.9

## 計画概要

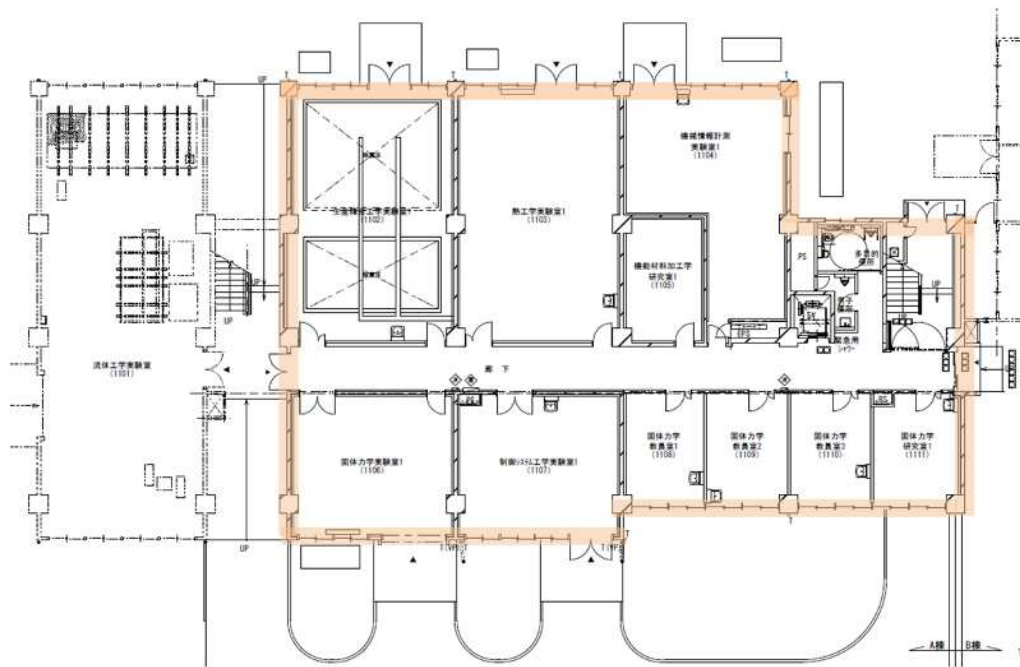
本事業では、老朽化した既存施設を改修・再整備し、施設の機能強化、長寿命化及びバリアフリー化の改善を実施した。また、キャンパス全体のイノベーション・commonsに向けた方向性を見据えながら、地域産業に貢献できる人材育成や研究、とくにアクティブラーニングを用いた高度な専門的学識を有する人材の育成や地域企業との共同研究を行うための機能改善を図った。

カーボンニュートラル（CN）の実現に向けて中長期的な視点に立ち、省エネの取り組みの更なる推進として、高効率設備機器の採用や外皮性能向上により、CO2排出量を軽減し、BEI0.6以下を目標にした整備計画を行った。

## 平面計画



機械系実験研究棟 屋上



機械系実験研究棟 1階

- 屋上防水外断熱改修
- 内断熱改修及び複層ガラス改修

## 特色ある 施設整備

- 外装計画
  - 工学部の建物は、温かみのあるえんじ色タイル調と白系吹付タイルとなっており、既存の色に合わせた色調とした。
- 省エネ対策
  - LED照明を採用
  - トイレ、風除室照明は人感センサーによる照明制御
  - 断熱材追加や複層ガラス化による高断熱化
  - 全熱交換ユニットによる省エネ換気

## 完成写真



研究室



研究室



階段ホール



実験室



実験室



多目的便所

## 整備効果

- 時代の変化に対応し、創造工学関連科目を充実させ、社会のニーズに基づいた教育カリキュラムを編成しやすい施設とした。
- 自動ドア、スロープ、多目的トイレ等の設置によりバリアフリー化に対応した。



## 工事概要

建 物 位 置： 富山県富山市杉谷2630番地（富山大学杉谷キャンパス）

### 【工事概要】

工 種： 改修工事

建 築 面 積： [ 解剖棟 ] 913.74㎡

[ 渡り廊下 ] 32.73㎡

延 床 面 積： [ 解剖棟 ] 913.74㎡

[ 渡り廊下 ] 32.73㎡

構造・階数： [ 解剖棟 ] 鉄筋コンクリート造・平屋建て

[ 渡り廊下 ] 鉄筋コンクリート造・平屋建て

基 本 計 画： 富山大学財務施設部施設整備課

実 施 設 計： [ 建 築 ] 株式会社 綜企画設計 北陸支店

[ 設 備 ] 有限会社 松田設備設計

工 事 監 理： 富山大学財務施設部施設整備課

施 工： [ 建 築 ] 東武建設株式会社

[ 電気設備 ] 株式会社リライト

[ 機械設備 ] 富山ホクリョー株式会社

工 期： 令和6年9月～令和7年3月（7ヶ月間）

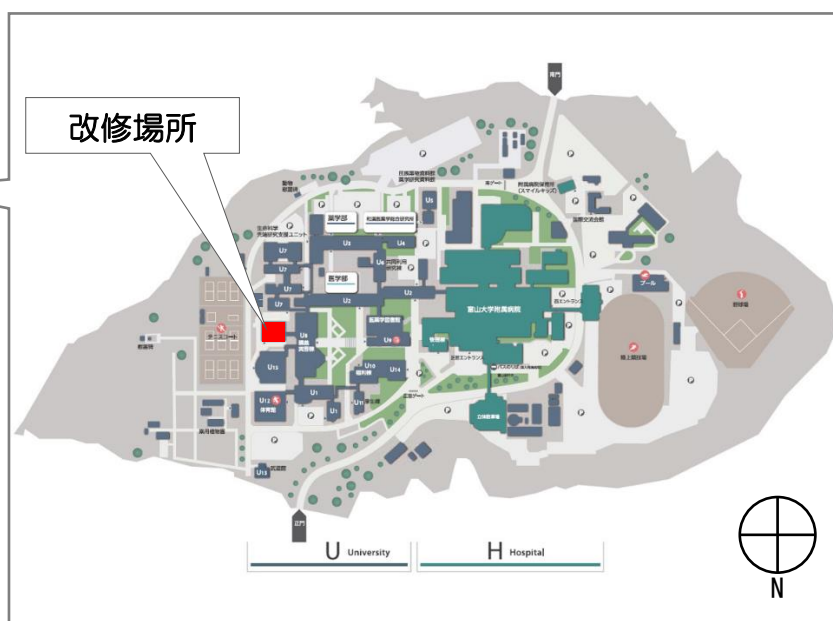
## 富山大学（杉谷）総合実習棟（医学系）改修その他工事



### 杉谷キャンパス



杉谷キャンパス 配置図



杉谷キャンパス 配置図

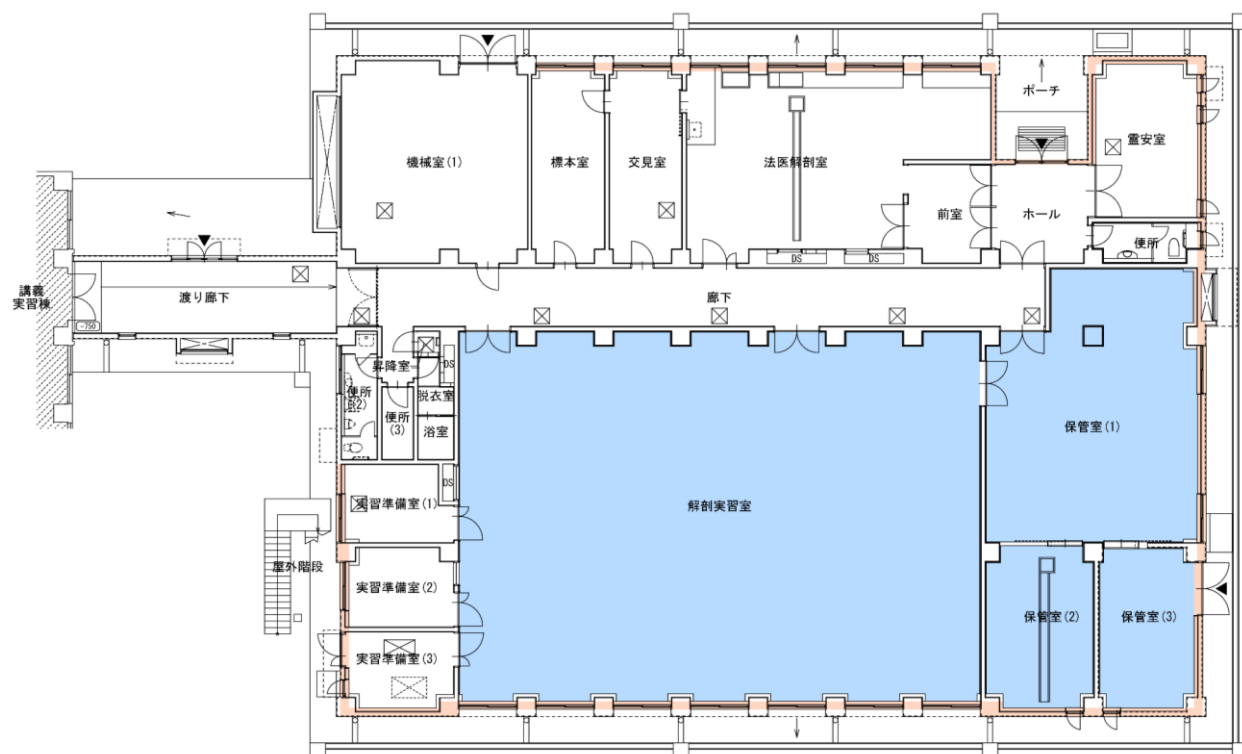
## 計画概要

本工事では老朽化した解剖棟の機能強化と長寿命化、環境負荷低減の実現を図るため、改修による再整備を行った。

本施設の学習研究環境の向上に必須となるホルムアルデヒド曝露対策のため、効率的な換気計画に基づく機器の選定やホルムアルデヒド吸収塗料の塗布などを実施した。

屋根や外壁への断熱材設置、外部建具の複層ガラス化により、建物全体の断熱性能を向上させて環境負荷低減を図った。

## 平面計画



### ■解剖棟平面

：断熱改修を施した範囲

：ホルムアルデヒド曝露対策を施した範囲

## 設備計画

### ■電気設備計画

既存の配線、配管をできるだけ再利用してイニシャルコストを低減し、設置される機材の使用に適した箇所にコンセント、情報用アウトレットを配置して施設の利便性を向上させた。

新たに増設される空調換気機器に電力を供給するために適切な動力幹線設備の整備を行い、施設の機能を向上させた。

LED照明や熱線センサー付自動スイッチを採用して施設の省エネ化を図り、法医学講座所管室は天井内の配線、配管を残置する計画として改修にかかる期間を短縮した。

また、電力供給している変圧器を高効率アモルファス変圧器に更新することにより、高い省エネ効果、二酸化炭素排出量の削減を実現した。

### ■機械設備計画

適切な換気計画および空調換気機器の選定により、ホルムアルデヒドが排出される室を陰圧として汚染された空気を外部に漏らさず、室ごとの適切な換気回数を確保して安全、快適な室内環境とした。

空調換気のダクトにCAV（センサー付き定風量装置）を設置して機器ごとに要求される適切な風量（風速）の供給を図った。

工事期間中にトレンチ内に仮設のガス、給排水配管を設置して工事中の法医学解剖室の使用に支障をきたさない計画とした。

## 完成写真



解剖実習室



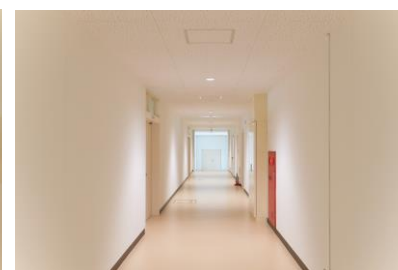
保管室（1）



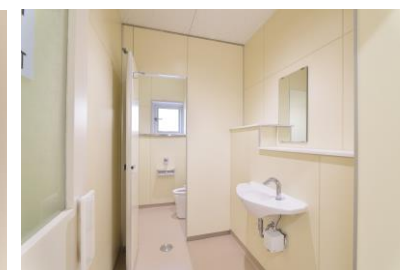
保管室（2）



標本室



廊下



便所